

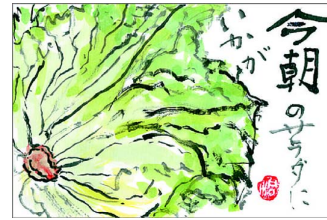
新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/豪雨被害
- 3面 読者のページ/まんが/乱楽
- 4~5面 スーパーシティ法/はたらくコラム/ホット
- 6面 食事情/子育て相談/時事
- 7面 新婦人のページ/主張/母の歴史



東京・葛飾区 田近治代 (93)

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです



住江憲勇さん

医療機関に緊急支援を

新型コロナウイルス 感染拡大で経営危機

全国保険医団体連合会会長 住江憲勇さんに聞く

新型コロナウイルスの感染拡大で受診を控える人がふえ、医療機関の経営が大変になっています。全国の開業医と勤務医が加盟する全国保険医団体連合会(保団連)会長の住江憲勇さんは、医療機関経営の厳しい実態と地域医療の崩壊を起ささないための財政支援を訴えます。

「この間、相次いで医療現場から窮状が訴えられています。保団連の「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する医療機関緊急アンケート」(4月5月実施)には約1万件の回答が寄せられました。医科、歯科ともに9割近くが「患者が減少」と答えて、

保険診療収入も8割超が減ったと回答。うち3割以上減少との回答は医科で25・8%、歯科で31・8%となりました。また、全国自治体病院協議会の調査では、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた病院では3月が平均約4千万円、4月は倍の約8千万円の減収です。〈2面〉



SDGs 持続可能な開発目標

口腔ケアこそ大切なのに 学校、妊産婦の歯科検診が中止に?!

北九州市 杉山歯科医院 副院長 杉山正隆さん

北九州市で歯科医師をしています。開業100年目で3代目ですが、実は第1波の新型コロナの感染拡大で、予約のキャンセルや困惑しているという電話が30件くらいありました。

私は特別支援学校の校医をしています。学校検診が中止になりました。子どもたちの異常は気づきにくく、検診で見つけてかかりつけ医に連絡していません。永久歯が生えたらムシ歯にならないことが大事ですが、学校検診ができないのが気になります。コロナが蔓延していない地域まで休校にしたのは問題だと思います。

また、口の中をきれいにするのは産婦人科的にも大事ですが、自治体によっては妊産婦の歯科検診まで中止になっているところもあります。

歯科だけでなく、耳鼻科、小児科、内科の受診が減ったことで、厳しい状況にあります。減収が30%というのが毎月続くようだと、気づいたら地域の歯科



医院がなくなった、耳鼻科、小児科、内科がなくなったということに。これでは、国民の医療が守れない。感染症はワクチンができない限り数年つづくものです。コロナウイルスは口腔や鼻腔から入るので、感染症に打ち勝つには歯科の果たすべき役割は大きいと思っています。

豪雨災害 各地に甚大な被害

4日未明から10日にかけて梅雨前線がもたらした猛烈な豪雨が、各地に甚大な被害を広げています。熊本、鹿児島、福岡、佐賀、長崎、岐阜、長野の7県に大雨特別警報が発令され、10県84河川が氾濫し、25県225件で土砂災害を確認(国土交通省)、各地で道路や鉄道が寸断され、熊本や岐阜など5県3164世帯(総務省消防庁)がまだ孤立状態に。亡くなった人は66人、行方不明13人となっています(10日現在)。住宅や店舗、工場の浸水、観光業や農業など産業への深刻な影響など被害の全容はつかめない状況です。

新型コロナウイルス感染症危機のなか、避難所に段ボールベッドやパーテーション(間仕切り板)が届かない、マスクや消毒液が足りないなどへの対応をはじめ、国民の命を守る政府と自治体の従来にとどまらない、強力な支援策が急がれます。



記録的な大雨で冠水した熊本県人吉市街=4日午後(時事通信)

8月13日号は休刊です

